

※本概要は受注候補者を選定するものであり、このまま業務内容となるものではありません。

駒ヶ根市役所本庁舎窓口環境改善業務

「やさしく 安心な 窓口」

駒ヶ根市は、アルプスがふたつ映えるまちとして豊かな自然環境と共に地域の結束力と相互支援の精神が感じられる地域です。市の理念である「ともに創ろう“誰もが自由闊達にいいきと活躍する広場のようなまち”」として、ひとづくり、健康づくり・支え合いの地域づくり、ひとの流れづくり、しごと・ものづくり、安心・快適なまちづくりの5つの基本目標を掲げられ、誰もが参加でき、誰もが安心して暮らせる地域を目指すその姿勢に私たちは深く共感します。

駒ヶ根市もまた、少子高齢化、人口減少などの課題に直面していますが、リニア新幹線開通による三遠南信地域の活性化のような明るい未来も見えています。

そのような未来からバックカastingで考えた場合、現在の庁舎は建物と家具（什器）の老朽化、執務環境の狭あい化が業務効率を低下させ、職員のモチベーション低下を引き起こすなど、多くの自治体が抱える課題も存在していると言えます。窓口の問題として、プライバシーへの配慮が足りない、待合イスが足りない/近い、高齢者や車いす利用者への配慮が不足している、非効率的な窓口環境、狭くて働きづらい執務エリア、サインが分かりづらいなど大きく6つの課題があると考えております。

6つの課題



プライバシー

プライバシーへの
配慮が足りない



待合空間

待合イスが
足りない/近い



高齢者対応

高齢者・車椅子
対応がない



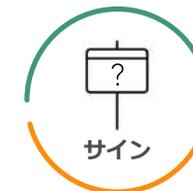
窓口環境

非効率的な
窓口環境



執務空間

狭くて働きづらい
執務エリア



サイン

サインが
分かりづらい

弊社はこれらの問題に取り組むことで、さらなる住民サービスの向上が可能になると考えております。また、ある企業の調査によると良好な作業環境を提供されている従業員は、そうでない従業員に比べて、仕事の効率が22%向上するとされています。さらに、デジタルトランスフォーメーション(DX)が進む現代において、DX白書2023によるとDXに取り組む日本企業の割合は69.3%であり、未来への基盤づくりも重要な課題となっています。

1. 課題を解決

22%

環境による業務効率向上

2. 高齢化対策と憩いのスペース構築

31.3%

約3人に1人は高齢者

3. 未来への布石

69%

DXに取り組む企業

私たちは、本業務の方針として、駒ヶ根市の庁舎環境を効率的で利便性が高く、愛される空間とし、さらにDXの波に対応する未来への基盤づくりに貢献したいと考えています。